

第2回 不均一および過渡的な電磁界による体内誘導量評価技術調査専門委員会 幹事会議事録

日 時：平成 19 年 12 月 21 日（金）10:00～12:00

場 所：電力中央研究所大手町会議室 3

出席者：藤原 修委員長（名工大），平田 晃正（名工大），山崎 健一（電中研）各幹事，鈴木 敬久幹事補佐（首都大）

提出資料：

2 - 1 開催日程（案）	平田幹事
2 - 2 委員会での調査項目と分担案について	平田幹事
2 - 3 報告書構成（案）	山崎幹事

議事要旨：

1 開催日程（案）

平田幹事より、第 6 回委員会までの開催報告が概説されるとともに、第 10 回までの委員会の開催計画が提出された。第 7 回の主題は、EHC 関連のレビューとし、電界ドシメトリを平田幹事、磁界ドシメトリを山崎幹事、健康影響に関する部分を横田委員が担当することが再確認された。第 8 回は 6 月 16 - 18 日を候補とし、次回委員会にて、委員の都合の良い日を伺うこととした。第 9 回は千葉工大で開催される電気学会・A 部門大会会期中あるいはその前後で開催することとした。第 10 回は 11 月 20 日あるいは 21 日に電子情報通信学会 EMC J 研と研究会を共催予定し、会期中あるいはその前後に委員会を開催することが確認された。共催の可否について平田幹事より技術委員会河崎委員長に伺うことが確認された。

2 委員会での調査項目と分担案について及び報告書構成（案）

第 6 回委員会までの実績を基に、調査項目と進捗・分担状況の確認がおこなわれた。また、次回の委員会に比較計算を決定とし、第 8 回をめぐりに比較を開始することが確認された。藤原委員長および山崎幹事より、新たな調査項目として「電界および接触電流に伴うドシメトリ」が提案された。詳細は、今後、委員会にて説明する予定である。

3 開催日程について

原則的に、3 月、6 月、8 月下旬、11 月に委員会を、11 月に研究会、12 月に幹事会を計画することが再確認された。2009 年に開催される EMC Kyoto で Special Session を企画することが検討課題となった。

以上